

第30回日本免疫毒性学会学術年会

公開シンポジウム

環境中化学物質の 免疫毒性リスク評価

概要

本シンポジウムは、「環境中に存在する化学物質の健康リスク評価における免疫毒性の活用と評価手法の検討」に関する取り組みや関連する研究分野について、広く周知するとともに意見交換を行うことを目的として開催します。

日程

2023年 **9月13日(水)** 9:10~11:55

会場

川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-13

形式

一般公開

■ 主催 / 日本免疫毒性学会

■ 後援 / 国立研究開発法人国立環境研究所

要登録

参加費
無料

詳細は学術年会ホームページをご覧ください

司会

大野 浩一 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

開会の挨拶

第30回日本免疫毒性学会学術年会

年会長 **中村 亮介** (国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部)

講演 1

「環境から曝露される化学物質の健康リスク評価」

青木 康展 (国立環境研究所名誉研究員)

講演 2

「医薬部外品及び食品中化学物質のリスク評価」

手島 玲子 (岡山理科大学獣医学部)

講演 3

「疫学研究からみた化学物質とアレルギー疾患の関係」

山本 貴和子 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター、
国立成育医療研究センター研究所エコチル調査研究部)

講演 4

「免疫毒性に基づく化学物質の健康有害性とリスク評価」

小池 英子 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

総合討論

閉会の挨拶

鈴木 規之 (国立環境研究所企画部フェロー)